



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニッセンホールディングス
コード番号 8248 URL <http://www.nissen.info/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐村 信哉

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員CFO兼グループ財務本部長 (氏名) 筑紫 敏矢

TEL 075-682-2041

四半期報告書提出予定日 平成26年8月1日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成25年12月21日～平成26年6月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	96,915	△5.5	△2,132	—	△2,143	—	△2,405	—
25年12月期第2四半期	102,546	46.2	△1,676	—	△1,230	—	△1,169	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △2,974百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △452百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	△38.07	—
25年12月期第2四半期	△19.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	97,718	24,792	25.3
25年12月期	95,403	26,451	27.7

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 24,770百万円 25年12月期 26,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	5.00	—	0.00	5.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年12月期の期末配当予想額については未定であります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成25年12月21日～平成26年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	196,800	0.2	△4,650	—	△4,650	—	△5,000	—	△78.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	66,669,432 株	25年12月期	63,473,832 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	2,798,147 株	25年12月期	2,797,815 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	63,186,681 株	25年12月期2Q	60,676,252 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
（継続企業の前提に関する注記）	11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	11
（セグメント情報等）	11
（その他の注記事項）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間（平成25年12月21日～平成26年6月20日）の業績概況

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、政府の景気対策等により景気は緩やかな回復基調となりましたが、個人消費におきましては消費税率引上げに伴う駆け込み需要やその反動があり、足元では弱含みの動きが見られました。

このような環境の中、当社グループは、中期経営計画「Nissen Vision 50」に掲げた目標の達成と早期の業績回復に向けた取り組みを推進いたしました。

当社は平成25年12月2日付にて株式会社セブン&アイ・ネットメディアと資本業務提携契約を締結し、平成26年1月29日付にて、同社の子会社並びに株式会社セブン&アイ・ホールディングスの連結子会社となりました。当社グループは、セブン&アイグループとの協業により、新たな企業価値を創造し、また、セブン&アイグループ全体としてのオムニチャネル戦略を推進することにより、競合他社と差別化された商品・サービスの提供を実現し、事業の成長と強化を図ってまいります。

当第2四半期連結累計期間における当社の連結業績は、コマース事業の株式会社ニッセンにおける減収減益の影響が大きく、売上高96,915百万円（前年同期比5.5%減）、営業損失2,132百万円（前年同期営業損失1,676百万円）、経常損失2,143百万円（前年同期経常損失1,230百万円）、四半期純損失2,405百万円（前年同期四半期純損失1,169百万円）となりました。

(単位：百万円)

	平成25年12月期第2四半期		平成26年12月期第2四半期	
		前年同期比		前年同期比
売上高	102,546	46.2%増	96,915	5.5%減
営業利益	△1,676	—	△2,132	—
経常利益	△1,230	—	△2,143	—
四半期純利益	△1,169	—	△2,405	—

②セグメント別の業績概況

コマース事業

コマース事業における売上高は93,831百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント損失は1,970百万円（前年同期セグメント損失1,386百万円）となりました。

株式会社ニッセンにおきましては、売上高につきまして、前年の稼働客数減少の影響が続いていること等により、前年同期の実績を下回りました。営業利益につきましては、在庫処分の売上が減少したこと等により原価率の改善はあったものの、減収による利益の減少に加え、カタログ費等のプロモーション費用を積極的に投下したことにより、前年同期の実績を下回りました。

シャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の完全子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社を「シャディ関連連結3社」といいます）におきましては、有店舗事業の売上減少傾向が続き、売上高は前年同期の実績を下回りましたが、営業利益につきましては、粗利改善効果や販売管理費の削減等により、当第2四半期連結累計期間においても黒字化を達成し、前年同期の実績を上回りました。

ファイナンス事業

ファイナンス事業の売上高は650百万円（前年同期比20.5%減）、セグメント利益は69百万円（前年同期比82.4%減）となりました。

保険事業におきましては、株式会社ニッセンライフの売上高につきまして、対面販売やウェブサイトを活用した販売を強化する一方で、不採算チャネルであるテレマーケティング事業を縮小したことにより前年同期の実績を下回りましたが、販売効率が改善したこと等により経常利益は前年同期の実績を上回りました。

クレジット事業におきましては、持分法適用関連会社のニッセン・ジー・イー・クレジット株式会社のクレジット取扱高はほぼ前年並みとなり、改正貸金業法施行以降ようやく下げ止まりつつありますが、過払返還請求の減少スピード鈍化等により貸倒関連費用が前年よりも増加し、持分法による投資利益が前年同期の実績を下回りました。

その他事業

その他事業の売上高は2,487百万円（前年同期比27.9%増）、セグメント利益は116百万円（前年同期比385.9%増）となりました。

宝飾事業におきましては、消費税増税前の駆け込み需要等により業績が順調に推移しました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比2,315百万円増加し、97,718百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金、現金及び預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比3,974百万円増加し、72,926百万円となりました。これは主に長期借入金金の減少に対し、短期借入金、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末比1,659百万円減少し、24,792百万円となりました。これは主に第三者割当増資による資本金、資本剰余金の増加に対し、利益剰余金の減少によるものです。

（単位：百万円）

	平成25年12月期末	平成26年12月期 第2四半期末	増減
総資産	95,403	97,718	2,315
負債	68,951	72,926	3,974
純資産	26,451	24,792	△1,659

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、1,123百万円増加し、6,540百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1,049百万円（前年同期は76百万円の増加）となりました。主たる増加要因は、仕入債務の増加額2,270百万円、減価償却費1,864百万円などであり、一方、税金等調整前四半期純損失2,163百万円、売上債権の増加額872百万円などが主な減少要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、946百万円（前年同期は4,177百万円の増加）となりました。主たる減少要因は、固定資産の取得による支出1,139百万円などであり、一方、短期借入金による収入1,298百万円などであり、一方、長期借入金の返済による支出1,920百万円などが主な減少要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、1,012百万円（前年同期は5,617百万円の減少）となりました。主たる増加要因は、短期借入金の増加額2,500百万円、株式の発行による収入1,298百万円などであり、一方、長期借入金の返済による支出1,920百万円などが主な減少要因であります。

(単位：百万円)

	平成25年12月期 第2四半期	平成26年12月期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	76	1,049	972
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,177	△946	△5,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,617	1,012	6,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,827	6,540	713

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成26年2月3日に公表した見通しから変更はありません。通期における実際の業績につきましては、当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートの変動などの様々な要因により本資料発表日現在の見通しとは異なる可能性を多く含みます。

2. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,416	6,540
受取手形及び売掛金	15,111	16,611
たな卸資産	16,903	17,450
前払費用	6,278	6,837
未収入金	8,933	8,762
その他	2,358	706
貸倒引当金	△477	△523
流動資産合計	54,524	56,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,524	13,125
その他(純額)	10,751	11,229
有形固定資産合計	24,276	24,354
無形固定資産		
のれん	707	659
その他	7,509	7,483
無形固定資産合計	8,217	8,142
投資その他の資産		
投資有価証券	6,499	6,553
その他	2,632	2,992
貸倒引当金	△744	△710
投資その他の資産合計	8,386	8,834
固定資産合計	40,879	41,332
資産合計	95,403	97,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,610	29,479
短期借入金	5,189	7,690
未払金	7,463	8,645
未払法人税等	348	447
返品調整引当金	196	207
返品破損引当金	23	20
販売促進引当金	287	282
事業整理損失引当金	69	69
その他	6,893	7,132
流動負債合計	48,082	53,974

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月20日)
固定負債		
長期借入金	11,858	9,938
リース債務	5,905	5,826
退職給付引当金	1,620	1,663
その他の引当金	43	68
資産除去債務	284	277
その他	1,156	1,177
固定負債合計	20,869	18,952
負債合計	68,951	72,926
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,218	11,873
資本剰余金	11,240	11,895
利益剰余金	4,069	1,663
自己株式	△922	△923
株主資本合計	25,604	24,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	307	345
繰延ヘッジ損益	522	△83
その他の包括利益累計額合計	830	261
新株予約権	16	21
純資産合計	26,451	24,792
負債純資産合計	95,403	97,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年6月20日)
売上高	102,546	96,915
売上原価	62,895	59,019
売上総利益	39,651	37,896
返品調整引当金繰入額	204	207
返品調整引当金戻入額	172	196
差引売上総利益	39,620	37,884
販売費及び一般管理費	※ 41,296	※ 40,017
営業損失(△)	△1,676	△2,132
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	62	13
受取手数料	41	39
持分法による投資利益	334	13
雑収入	245	138
営業外収益合計	687	208
営業外費用		
支払利息	165	133
雑損失	77	85
営業外費用合計	242	218
経常損失(△)	△1,230	△2,143
特別利益		
固定資産売却益	2	9
投資有価証券売却益	516	—
新株予約権戻入益	34	0
特別利益合計	553	10
特別損失		
固定資産除売却損	21	31
投資有価証券評価損	30	—
その他	—	0
特別損失合計	52	31
税金等調整前四半期純損失(△)	△729	△2,163
法人税、住民税及び事業税	194	457
法人税等調整額	245	△216
法人税等合計	439	241
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,169	△2,405
四半期純損失(△)	△1,169	△2,405

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月21日 至 平成26年6月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,169	△2,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	566	37
繰延ヘッジ損益	150	△605
その他の包括利益合計	716	△568
四半期包括利益	△452	△2,974
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△452	△2,974
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月21日 至 平成26年6月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△729	△2,163
減価償却費	1,870	1,864
のれん償却額	48	48
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	11
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	17	11
返品破損引当金の増減額 (△は減少)	0	△2
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	—	△5
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44	43
事業整理損失引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△66	△16
支払利息	165	133
固定資産除売却損益 (△は益)	19	21
持分法による投資損益 (△は益)	△334	△13
投資有価証券評価損益 (△は益)	30	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△516	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△701	△872
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,416	△278
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,223	2,270
差入保証金の増減額 (△は増加)	24	△15
その他	356	352
小計	359	1,387
利息及び配当金の受取額	8	4
利息の支払額	△161	△136
法人税等の還付額	52	110
法人税等の支払額	△182	△317
営業活動によるキャッシュ・フロー	76	1,049
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,097	△1,139
固定資産の売却による収入	4,711	136
投資有価証券の取得による支出	△54	△0
投資有価証券の売却による収入	578	0
貸付けによる支出	△174	△20
貸付金の回収による収入	37	82
子会社株式の取得による支出	△151	—
子会社株式の払戻による収入	332	—
その他	△4	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,177	△946

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年12月21日 至平成25年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年12月21日 至平成26年6月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金を増減額 (△は減少)	△4,680	2,500
長期借入れによる収入	2,400	—
長期借入金の返済による支出	△1,747	△1,920
リース債務の返済による支出	△1,226	△805
割賦債務の返済による支出	—	△60
自己株式の取得による支出	△0	△0
株式の発行による収入	—	1,298
配当金の支払額	△364	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,617	1,012
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,348	1,123
現金及び現金同等物の期首残高	7,176	5,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,827	6,540

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年1月29日付で、株式会社セブン&アイ・ネットメディアから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が655百万円、資本準備金が655百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が11,873百万円、資本剰余金が11,895百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	99,794	818	1,934	102,546	—	102,546
セグメント間の内部売上高 又は振替高	72	—	10	82	△82	—
計	99,866	818	1,944	102,629	△82	102,546
セグメント利益又は損失(△)	△1,386	394	23	△967	△262	△1,230

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△262百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△262百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年12月21日 至 平成26年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コマース事業	ファイナンス 事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	93,781	650	2,483	96,915	—	96,915
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	—	4	54	△54	—
計	93,831	650	2,487	96,969	△54	96,915
セグメント利益又は損失(△)	△1,970	69	116	△1,784	△358	△2,143

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△358百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△358百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社運営に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(その他の注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年12月21日 至 平成25年6月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年12月21日 至 平成26年6月20日)
広告宣伝費	10,403百万円	10,211百万円
運賃及び荷造費	7,931百万円	7,413百万円
給料	6,702百万円	6,316百万円
販売促進費	4,271百万円	4,006百万円
支払手数料	3,108百万円	3,386百万円
販売促進引当金繰入額	—百万円	240百万円
貸倒引当金繰入額	204百万円	169百万円
退職給付費用	146百万円	154百万円